



Governor's Monthly Letter

MASAO FUJIWARA

2-9, 3-CHOME, KOGAN-DORI
SUWA, NAGANO, JAPAN 〒392

藤原正男

国際ロータリー第360地区 ガバナー事務所
〒392 諏訪市湖岸通り3丁目2-9
TEL (02665) 8-3609

『奉 仕』

ロータリーを私は信奉する。

“SERVICE”

I BELIEVE IN ROTARY

R. I. 会長 ロバート A. マンチェスター II

No. 1 JULY 1. 1976

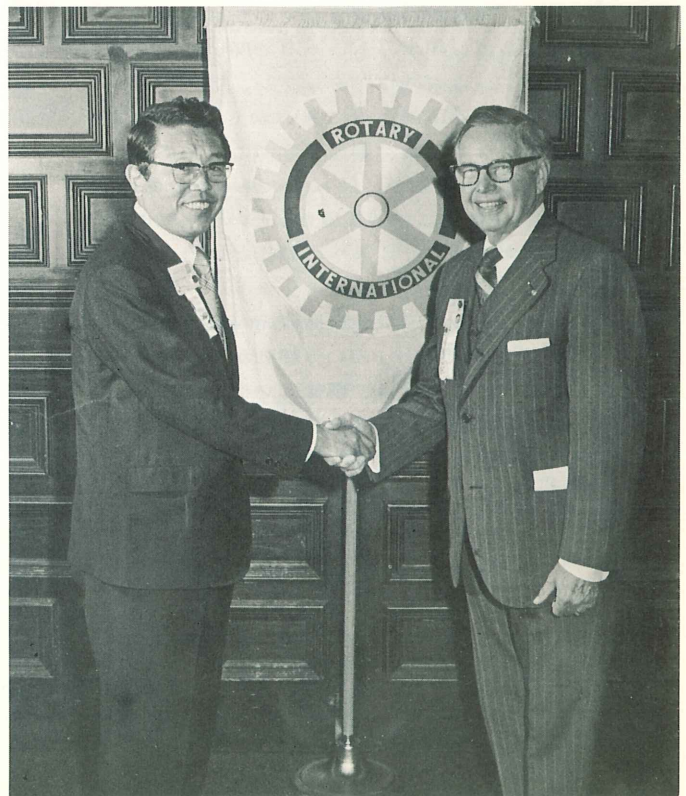
ガバナー月信 第1号 昭和51年7月1日

第360地区ロータリークラブ

会長・幹事殿

ガバナー

藤原正男



国際ロータリー

1976年度国際協議会

米国フロリダ州 ボカラトーンにおける
ロバート A. マンチェスター II 新会長招待
昼食会場にて (1976. 6. 10)

ロータリー を 私は信奉する

1976～'77年度

R.I.会長メッセージ



ロータリーは、1905年に、友好と職業における協力という理想を抱いた少数の人たちで発足しました。

ロータリーの創始者、ポール・ハリスは、一つの地域内のさまざまな実業人および専門職業人の中から指導的な人物を選んでロータリー・クラブの会員にする、という方法を始めたのであります。この職業分類方式は、個々の各クラブにも、また国際ロータリーにも、広汎な視野を与えるという意味で、ロータリーという組織にとってきわめて大きな力となったのであります。1911年に、当時既に結成されていた16のクラブが米国オレゴン州ポートランドで開いた第2回の大会で、シカゴのロータリアン、アーサー・シェルドン氏は次のように述べました：「職業を学ぶということは、奉仕を学ぶことである。『最もよく奉仕する者、最も多く報いられる。』」こうして、「職業における協力」という当初の考え方は拡大されて、他人への奉仕というより大きな考え方に発展したのであります。

このあと、さらに二つの発展段階がありました。一つは、「超我の奉仕」という標語がつけ加えられたこと、いま一つは、**奉仕**という一語をもって、四つの主要活動部門を持つロータリーの唯一の目的としたことであります。

その後におけるロータリーの運営面には大きな発展がみられましたが、以上に述べたことは、依然として、いまなおわれわれの組織の根幹となっているのであります。

略歴 米国オハイオ州ヤングスタウンのハリントン、ハックスレー&スミス法律事務所のシニアパートナーであり、1927年オハイオ州弁護士会入会。ミシガン大学より文学士、法学士、法学博士の学位を受く。米国弁護士会会員、キャンフィールド市市長、マホニング郡教育委員会委員長、オハイオ州教育委員会初代委員長、全米教育委員会委員長、全米ボーイスカウト・カウンスル会員。などを歴任。ヤングスタウン・ロータリークラブ会員、元同クラブ会長、元R.I.理事、元地区ガバナー。

会長として皆さんに申し上げる…

私は次の信念を持っている…

- (1) 各ロータリアンは、みんな、国際ロータリーのプログラムについて十分な知識をもち、身をもってこれを遂行しなければならない；
- (2) 国際ロータリーは、全会員の一人一人に対して、(イ)奉仕の4部門による奉仕と、(ロ)すべてのロータリアンとの友好関係とを求めている；
- (3) 各ロータリアンは、それぞれ、自分の職務や職業において、最高の道徳的、倫理的な模範を、つねに身をもって示さなければならない；そして、
- (4) ロータリーは、人間のすべてが健全な、尊厳な、自由な精神を確保できるように、この世界の人々が一つの目的に結ばれることを至上命令としている。

そして、私はこの信念に一身を捧げております。皆さんもそうしていただませんか？

ロバート A. マンチェスター II
国際ロータリー会長

1976～'77年度

■ガバナーあいさつ

シカゴ時代から 今再び時代の先駆者に！

■第360地区 ガバナー

藤 原 正 男

ガバナー・ノミニーとしての光栄に浴して以来、数々のご指導を賜り、又ボカラトーン国際協議会並びにニューオルリーズ国際大会参加にあたりましては、暖い激励を頂き誠に有難うございました。幸い会長のスピーチには5回にわたって耳を傾ける機会があり、その心に触れるかのように強い感銘を受けることができました。

マンチェスターII会長は奉仕が第一であることを、スピーチにより或は又、メッセージにより全ロータリアンに呼びかけております。1905年ロータリーが誕生した時、ポールハリスが、奉仕を掲げて時代の先駆者となったのですが、71年後の今日、人類の混迷に際し、人類生存のためには、ロータリーが奉仕によって重大な役割りを果そうと主張されるのです。ロータリー創立当時には、シカゴには商工会議所も、助け合う組合もなく、飛行機も自動車もなく、婦人に参政権もなく、その上伝染病を発生させるような公害、「自己保存第一」他人におかまいなしという悪徳の中にあった時「奉仕第一、自己第二」を主唱して活動を開始したロータリーは、バイオニア精神に満ちた時代の先駆者だったのです。

ひるがえって現代は、ニューオルリーズ国際大会で、ワイルドハイム国連事務総長、ベッチローマクラブ会長等4人の講演が異口同音に指摘したように、人類混迷の時代であります。即ち人間が技術と力を乱用し、誤用した結果人類は混迷の時代に陥り、大惨事への恐れがあることや、人口、食糧、住居、エネルギー、資源等に関する発展途上国と先進国との格差を中心とした世界問題の重大さに警鐘を鳴らし、同時にロータリーの人類に対する奉仕に対して、大きな期待を寄せていると述べられました。

1905年少数の人たちが、シカゴという都市の規模で、物質的汚染と精神的荒廃に出会い、友好と奉仕によってこれを克服しようとしたのですが、現在は80万になろうとしているロータリ

アンが、世界的規模で同様の汚染と混乱に直面しています。1976年～77年の我々の年度を迎えるあたり、会長はそれに答えるべく、ロータリーの原点を確認し、その方途と決意をメッセージに織りこまれたものと確信します。

即ち時代がたつと、ロータリーの原則から遊離して行くことを心配して、ロータリーができた根本精神をもう一度見直し、ポールハリスの原点に戻って考え、その上で社会のニーズに合う奉仕の体系をつくって、最終的に世界の安全確保に即ち4人の講演者が切実に訴えた人類の危機回避につとめようと考えたものと思います。

「私には皆さんに披露するようなモットーやスローガンはない。モットーはロータリーの綱領である。」といわれましたが、これこそロータリーの原点確認ではないでしょうか。会長は更に続けて「奉仕なくしてロータリーの存在はない。ロータリーはサービス団体である。中でも職業奉仕は奉仕の本通りである。ほかの奉仕部門は、それから分れて出てくるもの、ロータリアン各自の行う奉仕部門のいわば公分母のようなものだ。」と述べました。又これにつけ加えて「ロータリーは多忙の中から時間を割いて、力を求めている人々と個人的に交流しようとする人々の団体である。その人たちのために、自分を提供しようとする人々の集りである。自分の利益のために戦い続けたものは、消えてなくなるが、人に自分を提供して自分が豊かになるという精神、思想、これがサービスであり、ロータリーの目的であり、これでこそ世界の飢餓を救い、戦争を避ける原動力となるのだ。シュバイツァー博士は『幸せな人とは如何に他の人にサービスするかを求めて、発見した人である』といわれた。サービスによって幸せになることこそ大事である。私はロータリーを信じます。ロータリアン一人一人を信じます。これからの一年幸せをもたらすことを信じます。皆が力を合わせてやるからです。」

1905年に生まれた奉仕の精神が、今日更に一層強く求められていることを会長は生き生きと語り、ロータリーにとって源である職業奉仕が家庭生活、職業、地域社会をうるおし、世界社会奉仕を通じて世界の全ての人の健康と尊厳と心の自由確保に役立ち、そして平和のためになることを説いております。会長の我々に対する信頼と80万ロータリアンの友情の許に、しっかり腕を組んで、シカゴ時代から再び時代の先駆者として奉仕しようではありませんか。

山田直前ガバナーに 対する謝辞

第360地区 ガバナー 藤 原 正 男

友情と奉仕に満ちた素晴らしい年度を達成！
お目出度うございます。そのおよろこびは如何
ばかりかと心からお祝い申し上げます。同時に
74クラブ・4600人のロータリアンのために、愛
知・長野両県18,639平方キロに及ぶ広大な地域
を走破されたご労苦に対し、全会員を代表して
深く敬意を表すると共に、感謝の念を捧げるも
のであります。

それは74を数える公式訪問、地区大会、2つ
の地区協議会、7つのインターシティ・フォーラム、
地区ロータリー情報研究会、数々の地区諮問委
員会等の開催、クラブ記念行事その他関係行事
への出席でありました。何と輝かしい数字では
ありませんか。その上にこうした全ての機会に
ロータリーの友愛と奉仕を身をもって示された
のです。行く所、出席される所には常に明るく
爽かな風が流れ、微笑みと希望と激励が与えら
れました。地区ロータリアンは生き生きとロー

タリーを生き、インパッサイ会長のターゲット、
「人間に威信を」に熱心に取り組んだのでした。
真の誠実、寛大な精神、強じんな意志をお備え
になった山田ガバナーのお人柄に魅せられたか
らです。会員増強率が素晴らしかったことも当
然の結果でした。

7つのインターシティ・ゼネラルフォーラム
に特別出席させて頂いた時の山田ガバナーのお
仕事振りは特筆せねばなりません。ガバナーと
して意見を述べる傍ら、リーダー、パネリスト、
会員の発言を詳細記録なさって、講評の主要部
分とし、ホストクラブ、アドバイザーへの謝意
と共に、ユーモアと人を讃える気持ちでしめく
られたそのご努力であります。まさに昨年11
月名古屋大会におけるR I 会長代理シェラー第
2副会長がいわれた通り、「他の人に思いやりを
持ち、他の人の助けになり、いつもニコニコす
ることだ」であります。全ての会員はその役職
如何に抱らず、平等であるというボランティア
団体の指導者として誠に得がたい方であります。

ガバナーの任を去られるに当たり、惜別の情迫
りくるものがあります。新たな1976～77年度を
迎えるに当たり、今後一層クラブ並びにロータリ
アンのためご尽力賜わりますよう切にお願い申
し上げる次第であります。

ガバナー 公 式 訪 問 日

7 月			20日(金)	田	原	27日(月)	名 古 屋 中	19日(金)	名 古 屋 北		
12日(月)	駒	ヶ	23日(月)	刈	谷	28日(火)	松 本 西 南	20日(土)	名 古 屋 守 山		
13日(火)	木		24日(火)	高	浜	29日(水)	飯	24日(水)	名 古 屋 和 合		
14日(水)	辰		25日(水)	岡	崎	10 月		25日(木)	豊	橋	
20日(火)	南	佐	31日(火)	名	古 屋	7 日(木)	松	川	26日(金)	新	城
22日(木)	豊		9 月			8 日(金)	津	島	27日(土)	奥	三 河
23日(金)	安		1 日(水)	東	海	12日(火)	長	野	29日(月)	名 古 屋 空 港	
28日(水)	小		2 日(木)	半	田	14日(木)	松	本	12 月		
29日(木)	江		3 日(金)	常	滑	15日(金)	戸 倉 上 山 田	1 日(水)	長	野	東
30日(金)	箕		6 日(月)	尾	西	18日(月)	軽 井 沢	2 日(木)	伊	那	
8 月			7 日(火)	西	春 日 井	21日(木)	名 古 屋 東 南	3 日(金)	飯	田	南
4 日(水)	名	古 屋 南	8 日(水)	渥	美	22日(金)	名 古 屋 港	6 日(月)	豊	田	西
5 日(木)	岡	崎 東	9 日(木)	一	宮	23日(土)	東 知 多	7 日(火)	西	尾	
6 日(金)	尾	張 旭	10日(金)	一	宮 北	25日(月)	あ	ま	8 日(水)	碧	南
9 日(月)	名	古 屋 東	13日(月)	上	田	11 月			10日(金)	小	諸
10日(火)	犬	山	14日(火)	飯	島	4 日(木)	富 士 見	14日(火)	岡	谷	
11日(水)	瀬	戸	16日(木)	一	色	11日(木)	丸	子	15日(水)	大	町
13日(金)	諏	訪	17日(金)	岡	崎 南	12日(金)	白	馬	16日(木)	中	野
18日(水)	豊	川	20日(月)	松	本 南	15日(月)	豊 橋 南	17日(金)	春	日 井	
19日(木)	名	古 屋 西	22日(水)	稲	沢	16日(火)	豊 橋 北	18日(土)	蒲	郡	

1976～'77年度地区役員及び委員会委員

◎委員長 ○小委員長 ※副委員長

地区幹事 三井章義(諏訪)
地区会計長 松井澄寿(諏訪)
地区諮問委員会 滝沢卓夫(松本)

伊藤次郎左衛門(名古屋)
佐藤知雄(名古屋東)
安野譲次(一宮)
原享二(飯田)
鮎谷賢太郎(名古屋)
山田市三郎(名古屋南)
内藤卯三郎(岡崎)
神野太郎(豊橋)
近藤友右衛門(名古屋)

地区指名委員会 藤原正男(諏訪)
山田市三郎(名古屋南)
鮎谷賢太郎(名古屋)
原享二(飯田)
安野譲次(一宮)

分区代理 下郷弥太郎(名古屋東南)
墨末芳(一宮)
野沢東三郎(豊橋北)
山田真一(色色)
樋口美典(小諸)
小口進一郎(岡谷)
北原克巳(松川)

クラブ奉仕委員会
◎森泰樹(豊橋)
北秀之(春日井)
小林益三(小諸)
池上真通(松本南)
桃沢茂雄(飯島)

職業分類委員会◎安野譲次(一宮)
吉原久夫(津島)
後藤新三(飯田)
前田長八(名古屋東)

会員増強委員会◎原享二(飯田)
池上英雄(辰野)
清水芳二(豊橋北)
堀田逞二(名古屋中)
小田満(蒲郡)

拡大委員会◎滝沢卓夫(松本)
加藤邦太郎(長野)
伊藤健児(豊橋)
高橋得三(名古屋西)
島恒治(松本南)
大竹和美(あま)

広報委員会◎鈴木敏三郎(名古屋南)
石井武夫(名古屋港)

職業奉仕委員会◎川瀬保(名古屋南)
田辺三郎(常滑)
夏目幸一郎(長野東)

ロータリー財団委員会
◎近藤友右衛門(名古屋)
※伊藤長一(名古屋西)

①財団教育補助金委員会
○小山福松(名古屋和合)

②財団学友委員会

○伊藤長一(名古屋西)
林達夫(名古屋南)
早稲田国勝(瀬戸)

③財団推進委員会

○山田市三郎(名古屋南)
植松唯四郎(碧南)
北野幾造(長野)

④研究グループ交換委員会

○鮎谷賢太郎(名古屋)
神野太郎(豊橋)
堀内忠夫(諏訪)
酒井博(駒ヶ根)
磯村浩隆(豊橋)
折井正達(松本)

青少年奉仕委員会

◎佐藤知雄(名古屋東)
※鈴木武二(名古屋)

①青少年交換委員会

○鈴木武二(名古屋)
清水武吉(松本)
加藤一三(名古屋北)
志賀為久(岡崎)
柳沢方(丸子)

②インターアクト委員会

○渡辺末次郎(豊田)
梅村清弘(名古屋東)
松尾宗倫(名古屋)
小平進一(松本)

③ローターアクト委員会

○中西正雄(岡崎)
沢田富之助(一宮)
山田昇平(名古屋中)
高木信雄(松本西南)
山田吉男(田原)

世界社会奉仕委員会

◎小玉知夫(名古屋)
神野三男(名古屋西)
矢沢重幸(駒ヶ根)
光寓督(軽井沢)

世界親睦委員会

◎水野民也(名古屋東)
井上六郎(松本)
瓜生修一(名古屋守山)

米山記念奨学委員会

◎小森久夫(豊橋南)
加藤庄一(岡崎)
岡山巖(名古屋和合)
雑誌委員会◎河合利周(名古屋北)
平林泰雄(大町)
谷清(西尾)

オンツーサンフランシスコ

森泰樹(豊橋)
地区資金委員会◎中井武雄(名古屋東)
赤津賢太郎(名古屋南)
杉田泰三(豊橋)

ロータリーの友編集委員会

石川和昌(豊橋)

送 金 カ レ ン ダ ー

1976—1977

区 分	内 訳	1人(又は1部)金額		送 金 先 等	写 連 絡 先
		7月1日	1月1日		
R I 関 係 ・ そ の 他	人 頭 分 担 金	1,800円	1,800円	東京都千代田区有楽町1-1-2 三井銀行本店 R I 在日財務代行者 柏原孫左エ門 口座	ガバナー
	ザ・ロータリアン購読料	600	600		〃
	ロータリー財団寄付 1ドル		300		〃
	〃 10ドル	入会時に	3,000		〃
	〃 その他	任 意 の 額		東京都千代田区丸ノ内一丁目 三井銀行丸ノ内支店 ロータリーの友編集事務所口座	〃
	ロータリーの友 購読料	1,200	1,200		〃
	同上 英語版購読料		1,400		〃
地 区 関 係	米 山 記 念 奨 学 会 へ の 寄 付	750	750	東京都中央区日本橋室町2丁目 三井銀行東京支店 (財)ロータリー米山記念奨学金口座	〃
	地 区 資 金	1,000	1,000	名古屋市中区栄1-5-22 東海銀行御園支店 国際ロータリー第360地区 地区資金委員会 委員長 中井武雄	
	青 少 年 交 換 事 業 基 金	500	500		
	研 究 グ ル ー プ 交 換 資 金	500	500		
	世 界 社 会 奉 仕 資 金	150	150		
	地 区 大 会 協 力 金	3,000	0	名古屋市中区栄3-33-13 中京相互銀行本店営業部 国際ロータリー第360地区 地区資金委員会 委員長 中井武雄	
	日本ロータリー連絡委員会基金	50	50		
	ロータリー文庫運営協力金	50	50		
	1978年東京国際大会拠出金		3,000		
	計	5,250	5,250	10,500	

ニューオルリンズ大会のお知らせ

1、参 加 者 数

会 員 7,402人
家 族 6,533人 (16才以上)
〃 619人 (16才以下)
合 計 14,554人

国別参加者数

アメリカ	9,994人	ブラジル	143人
日 本	849人	スウェーデン	83人
メキシコ	721人	プエルトリコ	83人
カナダ	704人	英 国	77人
フランス	348人	その他	1,214人
オーストラリア	338人		

2、信 任 状

クラブ 数	16,856	代 理 票	7,165票 (第360地区76票)
出席クラブ	5,396	一般投票	7,283票
クラブ代表	3,071人	定数充足	

3、1978～79年度会長を指名する委員(会長指名委員)の選挙の結果

アジア地域 松本兼二郎 1,272票 印度の候補 137票

松本兼二郎君が指名委員となりました。当地区の76票は大いに力を発揮しました。直前会長、幹事さんに御礼申し上げます。

藤 原 正 男

国際ロータリー第360地区ガバナー事務所 〒392 諏訪市湖岸通り3丁目2-9 TEL (02665) 8-3609
地区幹事 三 井 章 義 (諏訪ロータリークラブ)